



“りそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ!

Study

2022
February
2月

制度〈基本〉

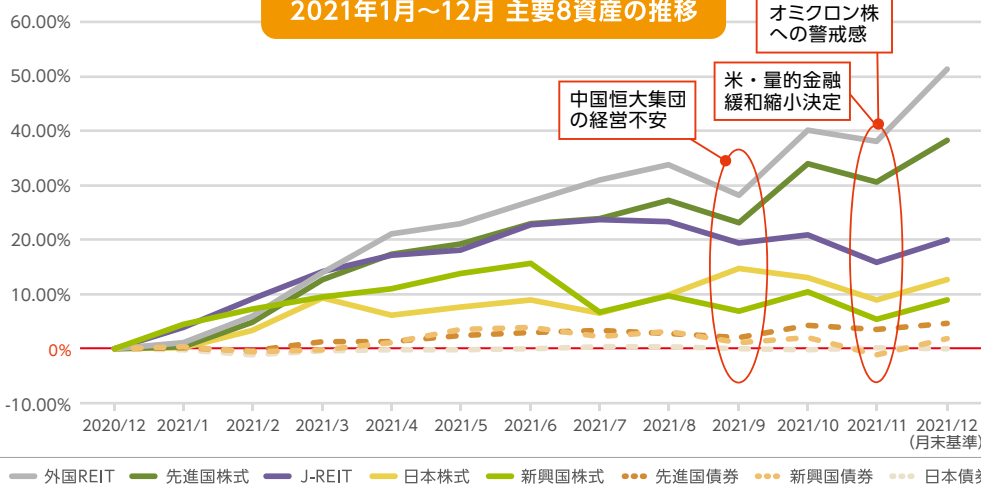
運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

2021年の各資産はどんな動きだった?

2021年は新型コロナウイルスの影響からの経済回復が期待され、総じて良好な投資環境となり、年間で、国内債券を除いた各資産はプラスリターンとなりました。各資産の値動きを振り返ってみましょう。



コロナ対策の金融財政政策やワクチン接種の進展による経済回復が期待され、外国株式やリートを中心に各市場は順調に推移しました。りそな銀行ご利用者の1年間の平均利回りは良好でした。

〈1年平均利回り〉

企業型DC	6.52%
個人型 DC個人型プラン	3.46%
つみたてiDeCoプラン	10.46%

株式

2021年は、世界的に株高の基調が続きました。米金融政策の不透明感や、中国不動産大手「恒大集団」の経営不安、オミクロン株の広がりによる景気悪化懸念等から、下落する局面も見られましたが、ワクチン接種による経済活動再開への期待等を背景に、米国株式市場は、2020年に続き大きく上昇し、NYダウは12月29日史上最高値を更新しました。フランスやインド等でも最高値更新が相次ぎました。日本株式は年初から上昇しましたが、その後は伸び悩みました。9月には首相交替への期待感等から日経平均株価が約31年振りの高値を付ける場面もありましたが、新型コロナウイルス感染拡大による景気失速、内閣支持率低迷による政局不安、国内指数への寄与度が大きい企業の株価低迷、中国市場の動揺等から、先進国株式に比べて上値の重い展開となりました。

債券

債券市場全体では、景況感やインフレ期待に連れて上下に変動する展開となり、記録的な低水準となりました。先進国債券は、春先は米株高によって債券が売られ、秋以降は米欧でのインフレ長期化観測の高まりによる金利上昇、年末にかけてはオミクロン株の出現による金利低下が債券市場に影響を与えました。日本債券は、米長期金利の上昇に伴い年初に下落、以降は日銀の長期金利に対する姿勢等を背景に、一進一退の動きとなりました。

REIT (リート)

株式と比べて2020年の大幅な下落からの戻りが遅れていたこともあり、2021年のリート市場は上昇し、Jリート、外国リートともに過去最高値を更新しました。後半は、米国の金融緩和縮小や中国の不動産市場への懸念等から、上昇はやや鈍化しましたが、円安を受けて円ベースのリターンは好調でした。

コラム

中長期的な視点で資産運用を考えよう

昨年は外国リートや先進国株式等のリスク資産が大きく値上がりという結果になりましたが、今年に入ると、米国を中心に株式下落の局面もありました。ずっと値上がりし続ける資産もなければ、値下がりし続ける資産もありません。短期的な値動きに一喜一憂せず、中長期的な目線で資産運用を考えましょう。

加入者サイトに入ってみよう!

りそな銀行確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。



<https://www.resonabank.co.jp/nenkin/dc/login/>

2022年2月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+ [2#]

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

本レターの無断引用・転載はお断りします。

